

Lesson 21. 健康政策と疫学

§D. メタアナリシス

メタアナリシス
Meta-analysis

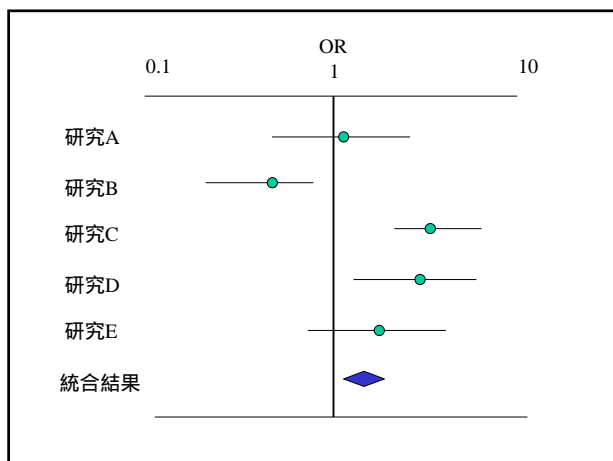
- 同じ目的でなされた複数以上の研究を、質や対象により選り分けて、特別な統計手法によりひとつの研究のように統合する解析手法
- メタアナリシスにより統合された研究論文を**系統的総説 Systematic review** という。

メタアナリシスの目的

- 同じテーマで行われた研究の結果が相反するものであったり、標本数が少ないために外的妥当性に問題がある場合などで、そのような問題を解決するために、現時点での研究結果を網羅して総括的な結論を導き出す。

対象となる研究デザイン

- 観察研究、介入研究のすべて
- 特に、無作為化比較対照試験
- ただし、異なった研究デザインを混ぜずに限定するべきである。



選択基準と除外基準

- 選択基準 Inclusion Criteria
 - 同じような研究のうち、対象設定や研究デザイン、疾病状態の定義、影響する他の要因の処理、エンドポイントなどにより、どれを分析に採用するかを示した基準
- 除外基準 Exclusion Criteria
 - 同様に、どの研究を分析から除外するかを示した基準

分析

- 統合のための統計解析手法
 - Mantel-Haenszel法、Peto法、分散基盤法、DerSimonian-Laird法、信頼区間法、など
- 研究の同質性 Homogeneity が問題

出版バイアス Publication bias

文献を網羅する際に以下のものは採取できず、統合結果に偏りができうる。

- Negative dataのもの
 - 予測に反した結果
 - 資金提供者などに不利益が生じるもの
 - 注目されない可能性のあるもの
- 報告書として出版されたもの
- 異なる言語で書かれたもの

Pooled Analysis

- 研究結果ではなくて、それぞれの研究の個別データ(生データ)を蓄積し、まとめて分析する手法
- 正確だが、個別データを取得する必要がある
